



2040年の 地方自治に向けて

～自治体戦略2040構想研究会と
その後の地域のあり方～



平成30年度
瀬戸・高松広域連携中枢都市圏講演会

日時 **2月7日(木)**
14:00～(開場 13:30～)

場所 **香川県社会福祉総合センター**
1階コミュニティホール

参加 **無料 定員50名**
託見あり(要予約)・手話通訳あり
参加申し込み期間:1月25日(金)まで

講師 **牧原 出** (まきはら いづる) 氏
MAKIHARA IZURU

第32次地方制度調査会委員
自治体戦略2040構想研究会 座長代理

東京大学法学部卒業
同年より東京大学法学部助手、東北大学法学部助教授、同大学院
法学研究科助教授、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス客
員研究員、東北大学大学院法学研究科教授を歴任



■2040_この先の20年で、私たちの暮らしはどう変わる。どう変えていく。

自治体戦略2040構想研究会が提唱する「3つの危機とその対応」

2040年頃にかけて迫り来る我が国の3つの危機(若者を吸収しながら老いていく東京圏と支え手を失う地方圏、標準的な人生設計の消滅による雇用・教育の機能不全、スポンジ化する都市と朽ち果てるインフラ)について、新たな自治体行政(スマート自治体への転換、公共私による暮らしの維持、圏域マネジメントと二層制の柔軟化など)が提言されています。



瀬戸・高松広域連携中枢都市圏とは...

香川県の高松市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町及び綾川町の3市5町で構成する圏域です。
多島海の優れた景観が「世界の宝石」とも称される瀬戸内海に囲まれ、陸だけでなく、海でつながる圏域の特長をいかしながら「輝きと活力にあふれ 島、街、里が織りなす 創造性豊かな交流圏域」を目指し、以下の分野で様々な取組を進めています。

- 圏域全体の経済成長のけん引
ブランド農産物育成支援事業、瀬戸内国際芸術祭推進事業など
- 高次の都市機能の集積・強化
ICカードを利用した公共交通利用促進事業など
- 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
ファミリー・サポート・センター事業、
移住・交流促進事業など

会場までのアクセス



★香川県社会福祉総合センター
JR高松駅から 徒歩 約10分
ことடன்瓦町駅から 徒歩 約15分
バス 約5分
(県庁前下車)

参加申し込み方法

郵送、メール、FAXで申し込みください。
※右のQRコードからも申し込みできます。



- 氏名(所属団体名)
- 連絡先(電話番号、FAX/メール)
- 託見が必要な場合は、「託見要」と記入してください。
(ご記入いただいた連絡先へ連絡の上、別途「託見申込書」で申し込みとなります。ご注意ください。)

※ご記入いただきました個人情報、厳重な管理のもとに本講演会に関してのみ使用いたします。

【問い合わせ・申し込み先】

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏

〒760-8571 高松市番町1-8-15 高松市 市民政策局 政策課
TEL 087-839-2135 / FAX 087-839-2125
Mail seisaku@city.takamatsu.lg.jp